

平成29年度 福岡市立多々良中央中学校 学校経営方針(教職員の教育活動の根拠)

日本国憲法 教育基本法
新しいふくおかの教育計画
(後期実施計画)
学校教育指導の重点
人権教育に関する法規等

学校教育目標

ともに学び合う中で、基本的な生活習慣を身に付け、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる力を身に付けた生徒の育成

国民、市民
地域、保護者の負託

めざす生徒像(校訓・創造・協力・勉勵の具体的な姿)

- 自己の確立・可能性の創造
 - ◇基本的な生活習慣が身に付き、さわやかで元気なあいさつができる生徒
 - ◇整理整頓ができ、心を込めて掃除ができる生徒
- わかる喜びを味わい、真剣に学習し、進路を切り拓く生徒

「福岡スタンダード」の達成 挨拶・掃除、自学、立志

平成29年度の重点(「福岡スタンダード」を確実に)

- 学力の伸長 学力・進路保障に向けた確かな授業づくりの実現(授業の指導工夫改善・補充学習・家庭学習の充実)
- 生活規律のよりいっそうの確立 全教育活動を通じての挨拶の徹底
- 学習環境、生活環境の整美 ものを整え、きれいにする喜びを味わわせる(黙清掃の推進・整理整頓・美化を常態的に)
- 確かな人権教育と不登校を生まないアンテナを高くした指導の推進(特別支援教育・地域に学ぶ人権教育、QUアンケ、生徒指導アンケートの活用)
- 道徳指導の充実
- 小中及び学校・保護者・地域の連携の推進による学力の向上と豊かな心の育成

1 教育課題

たくましく生きる子どもの育成

(1) 学力の向上

- ①授業研究等の研修をととして指導方法の工夫改善を図る
授業改善の3つのポイントを踏まえた授業づくり
○「教えること」と「学ばせること」を区別する
○学習過程の中で「考えを書くこと」大切にする
○「まとめ」と「ふり返し」を確実に
- ②生徒の学びの基礎を確立する
○身構え「物構え」「心構え」の徹底 当たり前のことを当たり前 腰骨を立て、しっかり前を向かせる
- ③補充学習・家庭学習の実施・充実(朝の時間・放課後の時間・長期休業の活用)

(2) 規律ある落ち着いた校風

- ①基本的な生活習慣の確立ー生徒指導方針のもと全職員の共通理解、共通実践 ゼロトレランスの実践 ならぬものはならぬ
- ②心のトラブルへの対応ー鋭いアンテナ・素早い対応(日常的な教育相談活動、早めの家庭訪問、QUアンケ、生徒指導アンケートの活用)
- ③美しくかつ安全な学校環境の整備ー清掃やり直し、部活動場所の整美、学校掲示・学級掲示の工夫、花や緑のある学校づくり
- ④道徳や集中人権学習、特別支援教育など日々の教育活動全体を通して豊かな人権感覚と実践力を醸成する
- ⑤礼法指導の充実(魅力ある高校生の姿から学ぶ)

(3) 多々良中央中学校に入学してよかった させてよかったと感じる感動体験

- ①生徒会活動を充実させる 生徒の学校での活動はすべて生徒会専門委員会活動の範疇にあるという観点から価値ある活動を生み出す
- ②行事で感動させるしほみを教職員全体で工夫する 団結心と達成感を味わわせ、泣きたい泣かせたい 最後は卒業の感動へつなぐ
- ③夢を実現させる進路指導を充実させる
○厳粛かつ感動的な入学式・立志式・卒業式の実施、
○1学年からの進路関係説明会の実施
- ④部活動で豊かな中学校生活を味わわせる

2 経営課題

信頼される学校づくりの推進 教職の力量をつける

- (1) 組織的運営の充実 組織文化を高める 教師のつながりを持つ 相互に関心を持つ
 - ①学校は一枚岩 学校課題を共有し相互に支持的風土に支えられた厳しさを持つ
 - ②主任・主事を中心とした一貫性のある教育活動を実践する 学年間の統一感を持たせる
 - ③報告・連絡・相談の徹底 生徒は人、問題があつて当たり前 抱え込まずに悩んだらホウレンソウ悩む前にホウレンソウ
 - ④教科主任、教務主任による教育課程の管理の徹底(指導時数・指導内容・指導方法)
- (2) 教育公務員としての資質・能力の向上を校内・校外研修やOJTで図る
 - ①個の力(授業力・生徒指導力・人権感覚)、組織の力(学年組織、分掌組織、部活顧問団)を伸ばす
 - ②公務員倫理の徹底 リーガルマインドとコンプライアンスを醸成する
- (3) 小学校・家庭・地域と連携した教育活動を行う
 - ①学校評価(生徒・教職員による授業評価を含む)・外部関係者評価などの結果説明と改善案の提示
 - ②計画的な授業公開・参観の推進
 - ③保護者・地域を巻き込んだ教育活動の推進
○地域行事への積極的な参加、学校は地域のもの 地域を味方につけ、教育活動をより効果的にする(リーダー会の推進)
OPTA・青育連等の協力を得て、子どもを見守りたい、活動させたい活動を仕組む
 - ④学校・学年・学級各種通信の発行、学校HPの充実で情報発信
 - ⑤中学校ブロック教育計画の実践 小・中連携は信頼と期待の上に成り立つ
 - ⑥進路学習での保護者啓発
- (4) 安全・防災、保護者対応等危機管理の徹底
 - ①危機管理マニュアルの周知
 - ②携帯メール配信システムの適正管理
 - ③指導したら生徒より先に保護者連絡、理解を得る
- (5) 効果的な教育活動を創造する各分掌の具体的な運営計画の作成と実践(学校評価・目標管理・関係者評価などPDCAで新たな価値を生み出そう)

三つの危機管理

サービスに関する危機管理
教育課程に関する危機管理
生徒指導・安全指導に関する危機管理

地域が喜ぶと優しいまなざしが子どもに返ってくる